

三重県議会議員 森野真治の県政レポート

今期最後の議会となる平成23年第1回定例会が2月14日から3月16日まで開催されました。

第13次緊急雇用経済対策として約53億円を盛り込んだ平成22年度補正予算と平成23年度当初予算・補正予算、条例改正案などが可決されました。平成23年度当初予算は知事改選のため新規事業を盛り込まない骨格的予算として一般会計約6,506億円、各特別会計予算が提案されました。

今議会で議論のあったものや議会活動の一端をご報告いたします。



2011年第2号(通算第10号)

2011年3月発行

平成23年第1回定例会が閉会しました

目次

- (1) 東北地方太平洋沖地震について
- (2) 高病原性鳥インフルエンザについて
- (3) ドクターヘリの運用とドクターカーの導入について
- (4) 平成22年国勢調査速報値による三重県議会の1票の格差について

三重県・伊賀広域防災拠点の整備

2010年1月号(第6号)でお知らせいたしましたとおり、4月から伊賀広域防災拠点が旧県立上野農業高校を改修して整備されます。

大地震等により伊賀地域が「陸の孤島」となった場合に対応するためグラウンドを大型ヘリが着陸できるヘリポートとし、校舎を備蓄倉庫(発電機・投光機・簡易トイレ・担架・防水シートなど)や災害対策本部等通信・司令・会議室、救助隊の宿泊施設等が整備されます。



熊野県民センターで概要説明を受ける

(1)東北地方太平洋沖地震について

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に対する県内への対応と被災地への支援、議会の対応については次の通りです(3月16日現在)。

【県内の対応】

被災した漁業経営の再生や漁場機能の早期回復のため、次の支援策を検討しています。

- ①被災漁業者に対する資金支援
被害を受けた漁業者の経営再建を図るため、運転資金や設備資金の借入に際した金利の軽減
- ②被災漁場復旧支援
地元自治体や漁業協同組合と連携し、定置網や養殖場で散乱した筏(いかだ)やアンカーの回収・撤去など漁場の復旧に向けた取り組みへの支援
- ③国の激甚災害援助制度による支援
養殖施設等の災害復旧に対する国庫補助金の上乗せなどの制度による支援

【被災地への支援について】

- ①緊急消防援助隊(消防)を派遣(3月11日～)・・・救助活動、火災対応
- ②広域緊急援助隊(警察)を派遣(3月11日～)・・・救助活動、行方不明者搜索、

交通整理など

- ③DMAT(災害派遣医療チーム)を派遣(3月11日～)・・・災害急性期における医療活動
- ④防災ヘリを派遣(3月12日～14日)・・・空中消火及び救助
- ⑤備蓄物資、県営住宅を提供(3月13日～)・・・毛布、簡易トイレなど
- ⑥保健師、調整員を派遣(3月16日～)・・・被災者の健康相談・健康チェック、避難所の衛生対策

【議会決議】

「東北地方太平洋沖地震による被災からの復興に向けて三重県が県内外に最大限の支援を行うことを求め及び誓う緊急決議」を全会一致で決議いたしました。

今般の未曾有の災害にあたり、被災者の救済及び被災地の復興に県と県民とが一体となって支援を行うよう呼びかけるとともに、この地震を教訓として防災意識を向上させることを誓うものです。

【義援金の送金】

三重県議会として500万円を義援金として送金いたしました(正副議長15万円、議員10万円)。

(2)高病原性鳥インフルエンザについて

2月16日に紀宝町の養鶏農場において、2月26日に南伊勢町の養鶏農場において、相次いで高病原性鳥インフルエンザが発生いたしました。

2月17日に紀宝町の現場に現地視察に行き、対応状況について説明を受けるとともに、現場の視察や意見交換を行ってまいりました。

これらに対する緊急防疫対策費(人件費を除く)として、今議会で以下の補正予算が可決されました。

- ①発生農場における殺処分等・・・10億1,355万7千円
- ②制限区域内の消毒及び制限区域内の農

場のウイルスの清浄性検査を実施・・・4億6,532万5千円

- ③殺処分された家畜の手当金の交付や移動制限に起因する売り上げの減少等に対する助成などの補償・・・2億7,169万2千円
- ④事務費・・・1億1,776万8千円
- ⑤新たな発生に備えた対策費・・・6億8,692万8千円



今年度は、県議会において以下の委員等をしています。

- 健康福祉病院常任委員
- 予算決算常任委員
- 地域主権調査特別委員長
- 都市計画審議会委員
- 費用弁償の在り方検討ワーキンググループ



3月3日総括質疑

県政に対するご意見、ご要望などがございましたら
お気軽にご連絡ください。

ホームページもご覧ください。 <http://www.morino.biz/shinji/>

三重県議会議員
森野真治事務所
〒518-0873
伊賀市上野丸之内117-21
電話 0595(23)6060
FAX 0595(48)6233
Email: shinji@morino.biz

(3)ドクターヘリの運用とドクターカーの導入について(予算総括質疑、15分)

3月3日に開催されました「予算議案及び予算関連議案にかかる総括質疑」において会派割当時間から15分間をいただいてドクターヘリの運用とドクターカーの導入について質疑をいたしました。

○森野

県が所有している、または導入予定ヘリコプターについて、それぞれの飛行能力や飛行できない場合のバックアップ体制についてどのようになっていますか。

○県警本部長・防災危機管理部長・健康福祉部長

県警本部が所有する警察ヘリ、防災危機管理部が所有する防災ヘリ、健康福祉部が補助をして本年度末より導入予定のドクターヘリについて、いずれも飛行能力に大きな差はなく、有視界飛行のみが可能となっています。夜間はもちろんのこと、昼間でも5km先が見える状況でなければ飛べません。なお、防災ヘリについては、飛べない場合でも大規模災害等の場合には自衛

隊に支援要請をし、伊賀地域であれば本年度から整備予定の広域防災拠点(うら面にて説明)へ自衛隊ヘリで人員や物資の搬送をすることになっています。

○森野

ドクターヘリが飛べない場合には、せっかく待機している医師や看護師等が出動できないため、バックアップ機能としてドクターカーを導入している県も多数あり、2年前の救急医療体制調査特別委員会の知事への申し入れにおいても、ドクターヘリ導入時にはドクターカーも同時に導入するようお願いしていましたが、当初予算に計上されていないのではありませんか。

○知事

特別委員会からの申し入れは十分承知しており、来年度、三重大学の救命救急センターへのドクターカー導入を目指しています。

(4)平成22年国勢調査速報値による三重県議会の1票の格差について

昨年実施された国勢調査の速報値が出され、4月に行われる三重県議会議員選挙の1票の格差が更に広がっていることがわかりました(最大2.64倍)。

議論の末、今期の定数削減は見送られました。来期には定数削減を実現したいと考えています。

順位	選挙区	定数	1議員あたり人口
1	亀山市	1	51,047
2	鈴鹿市	4	49,796
3	四日市市	7	43,972
4	松阪市	4	42,037
5	津市	7	40,818

6	名張市	2	40,139
7	桑名市・桑名郡	4	36,784
8	いなべ市・員弁郡	2	35,669
9	伊勢市	4	32,557
10	伊賀市	3	32,405
11	三重郡	2	31,803
12	志摩市	2	27,350
13	多気郡	2	24,345
14	度会郡	2	24,320
15	鳥羽市	1	21,413
16	熊野市・南牟婁郡	2	20,476
17	尾鷲市・北牟婁郡	2	19,320